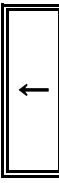


CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヴェルディ南蟹屋2丁目	階数	地上15F
建設地	広島市南区南蟹屋二丁目735-28他8筆	構造	RC造
用途地域	準工業地域、都市計画区域内、市街化区域、広島市景観条例重点地区(球場周辺地区)	平均居住人員	598 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2016年1月20日
敷地面積	5,060 m ²	作成者	遠藤 弘子
建築面積	1,011 m ²	確認日	2016年1月22日
延床面積	11,306 m ²	確認者	江口 博伸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>73%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	73%	③上記+②以外の	73%	④上記+	73%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	73%									
③上記+②以外の	73%									
④上記+	73%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.0		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 3.5</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 居住部は外皮全てに断熱材施工 / 専用部は2方向以上外皮に面し有効な採光・通風を確保 / 節水型器具の採用 // 節水型器具の採用 / 計画においてある程度の条件を満たす</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 1.9</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 高効率設備の採用 / 適切な駐車・駐輪スペースの確保</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 2.9</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 劣化対策等級が等級2相当 / 構造部材を痛めることなく電気・通信配線の更新・修繕が可能</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される